

令和4年度 山内図書館の目標

今年度、山内図書館は、以下の目標について特に重点的に取り組みます。

この目標は「横浜市立図書館運営実行プラン」、青葉区の「青葉区民読書活動推進目標」に基づいて策定しています。

※この目標は、「横浜市立図書館運営実行プラン」から各館で特に重点的に実施する項目を選択し、記載しています。

1 誰もが利用しやすい図書館

■ 図書館のイメージアップと利用促進のための企画・イベント等実施

【取組】

- (1) 利用者フォーラムを開催します。利用者から図書館への要望や新事業のアイデアを募り、より親しまれる図書館づくりに取り組みます。
- (2) 大人が帰宅途中に立ち寄れるイベント「あざみ野ブックカフェ」を継続して開催します。平日夜間開館のPRをするとともに、時事に即したものや地域情報など毎回多様なテーマを設定して、図書館の利用促進を図ります。また、地域と人、人と人のつながりを生み広げる機会として毎月第4火曜日に「図書館 de マルシェ」を開催し、地域産の野菜や商品の販売、ワークショップを行ないます。
- (3) コロナ禍のもとでの生涯学習や情報収集・情報交換に役立つ Zoom 等のツールの利用法を学ぶ講習会や、遠隔でも参加できる講座を夏以降に1回以上開催します。また、ひとり時間を充実して過ごすことを目的とした文章の創作講座を11月に開催します。

■ 誰もが利用しやすい図書館サービスの充実

【取組】

- (1) 図書取次サービスを円滑に行うため、青葉区内図書取次施設と連携し、サービスの運用に努めます。併せて、青葉区内3駅に設置している返却ポストの不具合や満杯の早期確認、発見に努め、安定したサービスを提供できるようにします。図書取次拠点での取次サービスについて広報をしていきます。
- (2) 来館が難しい子育て世代や、コロナ禍で外出を自粛しているシニア世代に読書の楽しさを提供するため、継続して宅配サービスを実施します。

■ 人材育成の推進

【取組】

- (1) 山内図書館独自で、接遇やコンプライアンス、人権、情報セキュリティに関する研修を行います。
- (2) 中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会ほか、スキルアップにつながる各種研修に職員を積極的に参加させ、各人の資質の向上を図ります。

■ 地域と連携した読書活動の推進

【取組】

- (1) 読書活動推進事務局会議を毎月開催し、青葉区における読書活動推進についての意見交換をします。また、講演会、パネル展示等の連携事業を実施します。
- (2) 8月4日から7日の4日間にわたり、市民ボランティアと協力して「やまうちとしょ

かん夏のおはなし祭り 2022」を行います。この催しは、市民が読書に親しむ機会を設ける場でもあり、ボランティアに活動の場を提供し、技術の向上を図るものでもあります。

2 子どもの読書習慣の定着への支援

■ 子どもの読書習慣の定着への支援

【取組】

- (1) 子どもが読書に親しみ、読書習慣を身につける機会を提供するおはなし会をボランティアと協力して毎月開催します。この定例おはなし会以外に、ボランティアと協力し夏休みに「おはなし祭り」を開催します。また、多文化の理解を深める英語のおはなし会を4月と11月に、山内図書館45周年記念事業の1つとしての特別おはなし会も開催予定です。
- (2) 子どもが安心して気持ちよく本を読める、選べる児童コーナーの環境作りに努めます。見やすくわかりやすい書架の工夫、備品の整備、毎日の丁寧な巡回などにより子どもにも保護者にも安心感を与える児童コーナーを整えます。

■ 家庭での読書活動の推進

【取組】

- (1) 乳幼児とその保護者に関わるボランティア向けに、わらべうたや絵本の読み聞かせについて、講師を招いて講座を開催します（9月頃・2回開催予定）。
- (2) 区の乳幼児健診（1歳6か月児健診）の会場で、毎月1回程度わらべうたの実演や絵本の読み聞かせを行います。子どもの成長に合わせたブックリストや図書館でのおはなし会などのイベントチラシを配布し、図書館の活動の周知、利用促進を図ります。

■ 学校教育への協力、学校図書館充実のための支援

【取組】

- (1) 「学校向けプログラム」を作成し、区内学校校長会や図書館教育研究会などで説明を行い、各小中学校へ配布します。山内図書館のホームページでも、情報発信を行います。
- (2) 児童生徒向けサービスでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しながら青葉区内の小中学校や近隣の特別支援学校からの図書館見学や職業体験の受入れを行います。学校司書をはじめとした教職員向けサービスでは、教職員研修への講師派遣や教職員向け貸出、レファレンスサービスを行います。窓口での相談にも応じ、希望があれば訪問しての支援も行います。学校司書やボランティア向けに、本の修理や読み聞かせなどの講座を春と秋の2回ずつ開催します。

■ ティーンズ世代の読書活動の促進

【取組】

- (1) 山内図書館のティーンズホームページに毎月ティーンズ世代におすすめする本を掲載し、中高生の読書活動の推進につなげます。また、SNS（ツイッター）を活用して情報を発信し、ティーンズホームページを訪れるよう促します。
- (2) 中学生の職業体験や高校生のインターンシップの際に、アンケートを実施し、読書傾

向を把握します。ティーンズ展示コーナーでは近隣中学校の活動展示の一部やホームページに掲載しているおすすめ本を抜粋して掲示します。

■ 地域での読書活動への支援

【取組】

- (1) 読み聞かせボランティアに、定例おはなし会等において活躍の場を提供します。また、やまちゃんおはなしのひろば（乳幼児健診でのおはなし会）を引き続き開催します。
- (2) 「やまうちとしょかん夏のおはなし祭り 2022」は、昨年同様密を避けるために、4日間に分け定員予約制で開催します。「大人のためのおはなし会」を年3回開催します。
- (3) 修理ボランティア（2団体）の活動を支援します。ここ2年コロナ禍で開催できていない活動歴10周年の修理ボランティアグループの周年事業と「本の病院」を実施します。

3 蔵書とレファレンスの充実

■ 地域の情報拠点としての蔵書の充実

【取組】

- (1) 買換えが滞っていた地図コーナーを更新します。利用者に新しい情報を提供するため最新の道路地図を収集します。また「世界大地図帳」などを新版に差し替え課題解決に役立てます。（21冊）
- (2) 文庫本コーナーの刷新をします。汚損や経年劣化で手に取られなくなった基本書、フォントが小さく読みづらい古典文学等の買換え、補充をすすめます。また文庫本コーナー内に時代小説コーナーを設置し利用者の利便性を高めます。（70冊）

■ 資料の管理・保存

【取組】

- (1) 青葉区関連の郷土資料の収集に努めます。区役所からの情報収集も積極的に行い、取りこぼしのないよう収集します。地域情報紙など視野を広くチェックし青葉区に関連する資料の収集に努めます。
- (2) 本の状態を良好に保つために、修理ボランティアと協力し図書修理をすすめます。気持ちよく本を選べる環境を提供できるよう資料の適切な除籍も行います。

■ レファレンスの充実

【取組】

- (1) レファレンス専用デスク「やまうちよろず相談処」を継続設置し、司書が常駐することで利用者からの相談に迅速に応じます。また、新聞記事検索から農業情報まで、多様なジャンルの商用データベースを導入し、市民の調べものを支援します。
- (2) 市民の学習支援のための講座を開催します。大人向けにはデータベースの活用講座を3月に、子ども向けには科学講座を7月に開催します。

資料の活用と情報発信

【取組】

- (1) 青葉区の各広報紙（広報よこはま、タウンニュース）や広報ラジオに情報提供して、図書館で行うイベントや図書館サービスの情報を幅広い層に発信します。また、地元のNPO法人『森ノオト』には親子向けイベントの情報を随時提供し、子育て世代へのアプローチを積極的に行います。
- (2) ホームページや SNS の速やかな情報更新に努め、地域の情報や図書館でのイベント情報を発信します。ブログについては今年度より運用方針を改め、イベント予告に加えて前月に行ったイベントの報告も掲載します。

4 山内図書館の独自目標

【取組】

- (1) 大人の倶楽部活動を起ち上げます。令和4年度は、ともに読書を楽しむ倶楽部と街歩きを楽しむ倶楽部をスタートさせます。各倶楽部とも年間6回の活動を目指します。読書倶楽部は山内図書館の夜間開館時間を利用して、働いている人も参加しやすい環境を整えます。
- (2) 読書のコツや楽しみ方を共有する読書支援ツール「Life with Reading」及び、その子ども版「本の楽しみかたカード」の普及に努めます。子ども版については、小中学校に出向いてワークショップを開催していきます。